

各位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
(コード番号 6112)
問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
(TEL 027-343-1511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年10月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,800	△60	△50	△60	△6.00
今回修正予想(B)	1,540	△65	△49	△69	△6.90
増減額(B-A)	△260	△5	1	△9	
増減率(%)	△14.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年11月期)	2,032	△38	△18	200	20.07

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては一部工事進行基準を適用いたしておりますが、当116期通期における売上高につきましては、受注低迷の影響が大きく前期(20億32百万円)及び前回予想数値18億円を下回る15億40百万円の見込みであります。

利益面につきましては、生産管理の強化を始め経費全般に亘り節減に努めておりますが、上記売上状況では、固定費を吸収しうる水準までには至らず、遺憾ながら表記の各損失金額となる見込みであります。なお、特記事項として、減損損失等17百万円の特別損失処理が含まれております。

受注環境につきましては、一定の引き合いはあるものの、景況感の悪化から、国内外の顧客において発注サイクルの引き伸ばし状況が続いており、更には、同業者間競争が激しいことから勢い価格競争に発展する事例が多く、想定通りの営業展開が困難な状態が続いている現況下にあります。

受注の見込み状況につきましては、当期受注高は、前期(18億52百万円)を下回る15億37百万円に止まっておりますが、これまでの低調な受注展開から、第4四半期以降自動車業界向け中型製品の複数成約等をはじめ回復基調の兆しが現れ、受注残高につきましては、前期末(11億47百万円)と同水準の11億44百万円を見込んでおります。

厳しい受注環境が続いておりますが、現在、交渉中である鍛造業界向けの大型案件を始め、引き合いが浮上している中型案件の成約に向け努力し、一層の受注増加を目指し、翌期の売上増加・業績の回復に全力を挙げているところでございます。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上